
JF T S 2021年度 通常総会資料

- 第1号議案 2020年度事業報告
- 第2号議案 2020年度収支決算
- 第3号議案 2021年度事業計画
- 第4号議案 2021年度収支予算
- 第5号議案 役員の選出（追加）

2021年5月22日

日本フードツーリズム学会

第1号議案 2020年度事業報告

(1) 通常総会

- ・日 時：2020年5月23日（土）
- ・会 場：メール審議（議決権行使書による審議）
- ・参加者：27名
- ・議 題：第1号議案 2019年度事業報告
 第2号議案 2019年度収支決算
 第3号議案 2020年度事業計画
 第4号議案 2020年度収支予算
 第5号議案 役員の選出
 第6号議案 事務局の交代
 第7号議案 会則の改廃

(2) 理事会

回	開催日	内 容	出席者	会 場
第1回	5月23日（土）	【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度総会資料の確認 ・研究分科会の採択審議 ・第3回研究大会の基本方針 ・学会運営と理事会体制の改善 ・名誉会員の推薦審議 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・会員情報の整理 ・ホームページ上の会則および入会申込書の変更 	11名	オンライン
第2回	8月22日（土）	【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・理事の変更 ・組織および担務の変更 ・第3回研究大会 ・『フードツーリズム研究』投稿規程の変更 ・ホームページおよび事務局メールのセキュリティ対策 	9名	オンライン
第3回	11月21日（土）	【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・第3回研究大会の内容検討 ・『フードツーリズム研究』投稿規程案の確認 ・フィールドワーク（拡大研究分科会）の開催 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・会員現況 ・事務局の新メール作成 ・研究分科会の中間報告 	7名	オンライン
第4回	2月20日（土）	【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・研究分科会（研究支援費）の規程改定 ・新入会員の入会審議 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・第3回研究大会の最終確認 ・会員現況 ・献本先からの連絡 	7名	オンライン

(3) フードツーリズム研究セミナー

- 外部講師を招いた研究セミナーを1～2回開催する。
⇒新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、実施できなかった。

(4) 視察研修

- 国内または海外でのフードツーリズムに関連する視察研修を1～2回行う。また、海外視察研修は韓国（全州市）で2020年6月に開催される「東アジア美食フォーラム」への参加を兼ねる
⇒新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、国内外ともに実施できなかった（東アジア美食フォーラムは開催中止）。

(5) 第3回研究大会

- 日 時：2021年2月20日（土） 13:00～18:00
- 会 場：オンライン開催
- 参加者：42名（うち、非会員は12名）
- プログラム
 - ①基調講演
 - フードスタディーズとこれらからのフードツーリズム：after コロナのフードツーリズムを考える
田中愛子氏（大阪樟蔭女子大学 学芸学部 元教授）
 - ②研究分科会報告（2件）
 - 日本における「中華料理」と「中国料理」：池袋中華街の形成を辿って
李娜・張茜
 - 泉州地域における農産物のブランド化とフードツーリズムへの活用
小川雅司
 - ③研究報告（5件）
 - フードツーリズムにおけるビーガン料理と精進料理
村山誠一郎
 - コロナ禍におけるオンライン・フードツーリズムの形成と課題：地域特産品の事前購入を条件とするツアーに着目して
和栗隆史
 - 食による地域価値創造：西宮市の都市文化と日本酒・スイーツを事例として
小川 雅司
 - ふくしま餃子の観光化
初澤敏生・森あやね
 - 尼崎市地域ブランド創出について：伝統野菜の活用と潜在力の醸成
傍嶋則之

(6) 年報『フードツーリズム研究』

- 第5号を2020年5月発行した。
*研究成果を社会に広げる目的で、創刊号から第5号までを国立国会図書館および公益財団法人味の素の文化センターに納本した（第6号以降も同様に行う）。

(7) 研究分科会（研究支援費）の公募

- ・2020年度は2件の研究分科会が採択された。

①日本における「中華料理」と「中国料理」：横浜と池袋を中心に

稲本恵子・李娜・張茜

②泉州地域における農産物のブランド化とフードツーリズムへの活用

小川雅司・傍嶋則之・初澤敏生・山口隆子・五嶋俊彦・平島佳世子・萩野哲也

(8) 会員研究情報の収集と管理

- ・会員間の研究交流を促進する目的で、会員研究情報収集・整理し、『フードツーリズム研究（第5号）』の末尾に掲載した。

(9) 会員数の状況

- ・2021年3月31日現在

39名（うち、正会員37名、学生会員2名、賛助会員0名）

*昨年度から8名増加

なお、顧問、名誉会員については、年会費を徴収していない

第2号議案 2020年度収支決算


2020年度収支決算書 (会計期間：2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：円)

【収入の部】			【支出の部】		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前年度繰越金	381,215	381,215			
会費収入	179,000	185,000	事業費	98,365	200,000
(正会員)	175,000	175,000	(謝金)	50,000	40,000
(学生会員)	4,000	10,000	(旅費交通費)	1,600	35,000
(賛助会員)	0	0	(研究支援費)	46,765	100,000
事業収入	0	10,000	(会場費)	0	20,000
(ゼミナー参加費)	0	10,000	(印刷費)	0	1,000
寄付金	0	0	(消耗品費)	0	4,000
協賛金	0	0	管理費	7,868	10,000
雑収入	3	0	(HP運営費)	5,638	6,000
			(通信費)	2,230	3,000
			(雑費)	0	1,000
合計	560,218	576,215	合計	106,233	210,000
			次年度繰越金	453,985	366,215
				(三井住友銀行)	

監査の結果、上記決算書に間違いのないことを報告いたします。

2021年5月18日 会計監査

山口隆子 

第3号議案 2021年度事業計画

(1) 通常総会

- ・日時：2021年5月22日（土） 10:00～12:00
- ・会場：オンライン（議決権行使書）
- ・議題：第1号議案 2020年度事業報告
第2号議案 2020年度収支決算
第3号議案 2021年度事業計画
第4号議案 2021年度収支予算
第5号議案 役員の選出（追加）

(2) 理事会

- ・年間4回程度を開催する。

(3) フードツーリズム研究セミナー

- ・外部講師などを招き、フードツーリズムに関連する研究セミナーを1回開催する。状況によってはオンライン開催とする。参加対象は正会員とし、メールでの告知とするが、有料で非会員の参加も検討する。
- ・正会員の獲得も兼ねた研究セミナーとして、会員および非会員（非会員は有料——入会した場合は無料することについては今後検討する）を対象に、2021年上半期に酒ミュージアム（白鹿記念酒造博物館）を訪問、副館長の弾正原佐和氏からの講座を受ける。
- ・主として会員対象に、通常総会の開催と合わせて、研究セミナーを実施する。
 - *「食を起点としたまちづくりとフードツーリズム」
田中浩子氏（立命館大学食マネジメント学部副学長・教授）

(4) 視察研修

- ・本年度は国内でフードツーリズムに関連する視察研修を会員および非会員を対象に1回開催する。場所、内容などは現時点では未定であるが、学会の研究分科会と連携した視察とすることも検討する。
 - *視察研修は原則、現地集合・解散とし、必要な交通手配、宿泊等は各自個別に行う。視察研修に関わる謝礼などの経費は参加者で案分負担する。
 - 傷害保険等も参加者の責任での加入とし、学会としては事故等については免責とする。

(5) 第4回研究大会

- ・日時：2022年2月5日（土） 13:00～18:00
場所：東京経済大学国分寺キャンパス（予定）
 - *大会テーマやプログラムについては、今後の理事会で企画するが、概ね、2021年度の内容を踏襲する。

(6) 年報『フードツーリズム研究』

- ・第6号の発行に向けて、2021年4月16日に原稿を締め切り、同年5月付けて発行するべく、現在、最終確認中である。

(7) 研究分科会

- ・2021年2月21日に公募を開始し、3月31日に締切、4月24日の第1回理事会において、以下の3件が採択された。なお、分科会への参加を希望する会員は、事務局から代表者にアポイントメントを取りますので、学会事務局にご連絡下さい。

【新規】震災復興と三陸フードツーリズムに関する研究

白石恵子 (代表者)・浅野幸治・王静・高田剛司・村上喜郁

【継続】日本における「中華料理」と「中国料理」：池袋中華街の形成を辿って

稲本恵子 (代表者)・李娜・張茜

【継続】泉州地域における1次産品のブランディングとフードツーリズムへの活用

小川雅司 (代表者)・傍嶋則之・初澤敏生・山口隆子・五嶋俊彦・平島佳世子・萩野哲也・岡恵

第4号議案 2021年度収支予算

2021年度収支予算書 (会計期間：2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：円)

【収入の部】			【支出の部】		
科目	予算額	前年度実績	科目	予算額	前年度実績
前年度繰越金	453,985	381,215			
会費収入	235,000	179,000	事業費	288,488	98,365
(正会員)	225,000	175,000	(謝金)	88,888	50,000
(学生会員)	10,000	4,000	(旅費交通費)	30,000	1,600
(賛助会員)	0	0	(研究支援費)	130,000	46,765
事業収入	15,000	0	(会場費)	33,000	0
(ゼミナー参加費)	0	0	(印刷費)	1,100	0
寄付金	0	0	(消耗品費)	5,500	0
協賛金	0	0	管理費	20,300	7,428
雑収入	0	3	(HP運営費)	6,000	5,638
			(通信費)	3,300	1,790
			(雑費)	11,000	
合計	703,985	560,218	合計	308,788	105,793
			次年度繰越金	395,197	454,425

<科目別予算計上の考え方>

前年度実績を参考にしながら、次のような考えかたにもとづき予算を計上した。

- ・会費収入：正会員45名（昨年度末で35名）、学生会員5名（昨年度末で2名）を想定。
- ・事業収入：2～3回の開催（1人当たりのゼミナー参加費：500円）を想定。
- ・研究分科会：1研究分科会あたり上限5万円とする（継続の2件は昨年度の残金のみ使用可能）。
- ・会場費：理事会はオンラインや理事の本務校を積極的に利用するが、研究セミナーなどでその他有料の会議室を利用する場合もあることを想定。

第5号議案 役員の選出（追加）

会則により、役員の任期は3年であるが、昨年度内に2名の役員が退任したことから、理事3名（*）を新たに選出する。

【2021・2022年度役員（敬称略）】

会 長：中村忠司（東京経済大学）

副会長：村上喜郁（追手門学院大学）

事務局長：小川雅司（大阪産業大学）

理 事：浅野幸治（C&Kデザイン）

稲本恵子（共栄大学）

王静（大阪観光大学）

小畑博正（嵯峨美術大学）

五嶋俊彦（大阪観光大学）

傍島則之（名古屋産業大学）

*萩野哲也（一般財団法人関西観光本部）

*青木洋高（株式会社JTBパブリッシング）

*平島佳世子（合同会社いずみ）

監 事：山口隆子（大阪観光大学）